



求ム！笑顔！ ～思わず笑顔になる作文や写真を募集～

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）は、創立130周年記念事業の一環として、通天閣観光株式会社との共催で、小学生以上を対象とした「第2回思わず笑顔になるコンテスト」を開催します。昨年の第1回コンテストには、応募総数7,891作品が寄せられ、たくさんの反響をいただきましたが、従来の「作文・エッセイ部門」と「つぶやき部門」に加え、今年は新たに「写真部門」も募集します。

本学の卒業生で通天閣観光（株）代表取締役社長の西上雅章さんを名誉審査委員長に迎え、学校法人追手門学院の小・中・高等学校、大学の教員らを中心に審査し、優秀な作品を表彰します。賞状や副賞のほか、後援企業・団体の（株）日立製作所、富士通（株）、田村駒（株）／通天閣公認ビリケン事務局、追手門学院校友会山桜会、追手門学院大学校友会から副賞を進呈。「読めば 見れば みんながしあわせになる」をテーマに、みなさんからの心温まるエピソードや笑いを誘う作品の数々をお待ちしています。

本学は大阪の中心で生まれ育った大学として2015年、大阪を代表する文化「笑い」を学問として追究する「笑学（しょうがく）研究所（名誉所長：幸運の神様ビリケンさん）」を設立。ユーモアの文化や笑いを活用した教育プログラムの研究、コミュニケーション能力育成などの活動を通して、人生の楽しさと幸福に貢献することを目指しています。報道機関の皆様には、趣旨にご賛同いただき、告知などにご協力いただけますようお願い申し上げます。

第2回 思わず笑顔になるコンテスト 募集要項

- テーマ： 「読めば 見れば みんながしあわせになる」
- 募集作品： ①作文・エッセイ（400～600字以内）
②つぶやき（140字以内）
③写真（写真につけるひとこと40字以内）
- 対象： 小・中学・高校・大学生、一般
- 募集期間： 2018年9月30日（消印有効）
- 応募方法： ▽パソコン、タブレット、スマートフォン【専用サイトから応募フォームにアクセス】
▽郵送・FAX・Eメール【本学HPから応募用紙をダウンロード。または、Eメールの
本文に作品（1行20字）と応募用紙の必要事項を記入】
- 審査員： 追手門学院の教員、笑学研究所員ら
- 結果発表： 2018年12月中旬予定、本学のホームページで発表の上、入賞者に通知
- 表彰式： 2019年1月26日（土）
大阪通天閣 STUDIO210（つうてん）（大阪市浪速区恵比寿東1-18-6）
- 賞： ・最優秀作品賞 ・優秀作品賞 ・通天閣賞 ・審査員特別作品賞 ・佳作
- 応募先： 〒567-8502 茨木市西安威2丁目1番15号
追手門学院大学図書館 思わず笑顔になる文章コンテスト係
（電話 072-641-9638、FAX 072-643-9786）

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590

足立・竹内

たくさんの 「笑顔作品」を 募集します

第2回 思わず笑顔になるコンテスト

おいだい
追大と企業がプロデュースする
作文・写真のコンテストです。

主催: 追手門学院大学 共催: 通天閣

後援: HITACHI Inspire the Next FUJITSU
追手門学院校友会山桜会 追手門学院大学校友会

スマホ
からでも
簡単応募!



テーマ

「読めば 見れば みんながしあわせになる」

募集作品

作文・エッセイ(郵送・FAX可) / つぶやき: 140字以内(郵送・FAX可) / 笑顔になる写真(スマートフォン・web)

対象

小中高・大学生・一般

募集期間

2018年9月30日まで

テーマ ▶ 「読めば 見れば みんながしあわせになる」

募集作品 ▶

1. 作文・エッセイ: 原稿用紙400～600字以内 (郵送・FAX可)
2. つぶやき: 140字以内 (郵送・FAX可)
3. 笑顔になる写真: (スマートフォン・web) 40字以内

※パソコンの場合、一行20字に設定すること

ホームページにて専用原稿用紙をダウンロードできます

※複数作品を応募される場合には作品数が分かるよう明記をしてください

※未発表のオリジナルの作品に限ります

※応募原稿は返却いたしません

対象 ▶

小・中・高校生、大学生
(予備校生、専門学校生、短大生 などを含む)、一般

募集期間 ▶

2018年9月30日まで

応募方法

スマホ: 表面のQRコードから応募フォームにアクセスし、
必要事項を記入して、ご応募ください

郵送・FAX: 応募用紙(本学ホームページにも掲載)に必要事項を記入し、
下記までご郵送ください。E-mailでもご応募いただけます
(メール本文に作品と応募用紙必要事項をご入力ください。
セキュリティ上添付ファイルでは受付しません。)

応募/お問い合わせ

追手門学院大学図書館
思わず笑顔になるコンテスト係

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号

TEL:072-641-9638 FAX:072-643-9786

E-mail:egao@otemon.ac.jp

<https://www.ccile.otemon.ac.jp/egao/>

賞

最優秀作品賞 ▶▶ 賞状、および副賞(5万円相当)、後援企業からの副賞

優秀作品賞 ▶▶ 賞状、および副賞(2万円相当)、後援企業からの副賞

通天閣賞 ▶▶ 賞状、および副賞(1万5千円相当)、後援企業からの副賞

審査員特別作品賞 ▶▶ 賞状、および副賞(1万円相当)

佳作 ▶▶ 賞状、および副賞(5千円相当)

名誉審査委員長 西上雅章 (通天閣観光(株)代表取締役社長:本学4期生)

名誉顧問 坂井東洋男 (本学前学長)

審査員 本学小・中・高・大学教員 など

審査結果発表 2018年12月中旬
思わず笑顔になるコンテストのホームページ上で行うとともに、入賞者へ通知いたします

表彰式 2019年1月26日(土)大阪通天閣STUDIO210(つうてん)

個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報につきましては厳重に管理をし、本企画で使用する他、追手門学院大学からの広報物をお送りする場合があります
入賞作品の著作権は本学に帰属し、冊子・ホームページなどで公表予定



第1回 最優秀作品賞受賞作品

【作文・エッセイの部】

じんのパチパチ

(西宮市立南甲子園小学校2年)

南 七帆

2さいの弟のじんの目がはれました。たくさんめあにがついていて、しんぱいになりました。びょういんに行って、目ぐすりをもらいました。目ぐすりはきらいです。だから、だっこしてしつかりおさえつけました。目ぐすりをさしてすぐにお父さんが、「パチパチして」

と言ったら目じゃなくて手をパチパチしていました。それを見たわたしは、かわいいなと思いました。そのときかぞくは大わらいしていました。

じんは、なんでわらっているんだろうと、ふしぎなかおをしていました。つぎの日も、目をパチパチしないで手をパチパチしていました。まいにち手をパチパチしていると、目はきれいなになりました。わたしはよかったなあとあんしんしました。

【つぶやきの部】

『平和な晩ご飯』

(追手門学院高等学校2年)

山本 優汰

いつもの家族全員での晩ご飯。その日の料理はとんかつだった。

私は塩こしょうを手にとった。衝撃だった。

賞味期限が一九九八年一月二日だった。

それはもはや我が家の化石である。

しかし、母が「新品があるで！」と教えてくれた。

私は一安心してそれを手に取った。

その賞味期限は二〇〇五年十月だった。